

ディプロマポリシー	【基礎教育】（総合教育センターの教育目標） 自主的・継続的な修学と生活スタイルの確立により、自己管理能力を高め、基礎学力の向上と専門分野との有機的な連続を図る。 協働的学習（アクティブラーニング）を実践し、日本語と外国語のコミュニケーション能力、論理的思考力・行動力・倫理観等を培う。 専門分野を見据えたキャリア形成ができる人間性豊かな「体徳智」をもつ人材を育成する。	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
D1【知識・理解】 造形活動や芸術文化研究における専門家として、基礎的技術や専門的知識を総合的に身に付けたもの。	学習内容 ・自主的・継続的に学修し、社会に貢献できる人材となるための心構えを身につける	S0,0セミナー(春)① S0,0基礎I① (絵、芸・楽)	S0,0基礎II① (絵、芸・楽)						
D3【態度・志向性】 人間社会のさまざまな問題や課題を、身に付けた専門的技術や知識、高い倫理観を活かして解決することで、未来の文化形成に寄与できるもの。	・自身の考えを論理的にまとめ、他者に伝えるために必要な基礎的能力（記述力、口頭発表力、コミュニケーション能力）を身につける ・一定の制約内で個人やチームで計画的に課題に取り組み、解決する基礎的能力を身につける ・コンピュータに関する基礎的知識を習得し、それらを活用する基礎的能力を身につける ・図形表現の技法を理解し、図形による基礎的なコミュニケーション能力を身につける ・働くことの意味を理解し、自らのキャリアを具体的に継続的にデザインする基礎的能力を身につける ・身近な問題や実社会の課題を個人やチームで解決する基礎的能力を身につける	情報処理基礎②	キャリアプレコ②	アントレプレナーシップ(起業家精神)とは何かを理解し、チームでビジネスプランを作成し発表する能力を身につける。 イノベーション創出のための課題解決手法とフレームワークを身につける。	ベンチャービジネス② イノベーション入門② ローカルイノベーション②	インターンシップI(夏期集中)① キャリアプロジェクト① キャリアデザインI②:芸	インターンシップII(春期集中)① キャリアセミナー(秋・冬)① キャリアデザインII②:芸	*本記、インターンシップ、キャリアプロジェクトの単位化は検討を開始	
D2【汎用的技能】 造形活動や芸術文化研究を通して培った汎用的な能力や論理的思考力、国際的視点、さらに豊かな感性や高い倫理観を有し、人間社会の構成員や他者に積極的に貢献できるもの。	・社会人として求められる一般常識・基礎的汎用的能力を身につける	*すべての単位 日本語表現 日本文学 人間と心理 人間と哲学 人間と歴史 人間と環境 現代の社会と法 現代の社会と政治 現代の社会と経済 英語圏の文化と社会 中国語圏の文化と社会 韓国語圏の文化と社会 フランス語圏の文化と社会 英語 中国語 韓国語 ドイツ語 フランス語 アートとデザイン 健康科学概論① 特殊講座( )	健康スポーツ教育I① イングリッシュコミュニケーションII②	健康スポーツ教育II① イングリッシュコミュニケーションIII②	健康スポーツ教育① イングリッシュコミュニケーションIV②	日本国憲法②	科学技術者倫理②		
D1【知識・理解】 造形活動や芸術文化研究における専門家として、基礎的技術や専門的知識を総合的に身に付けたもの。	・自律的に英語を学修するための学修方法を身につける ・英語による基礎的コミュニケーション能力を身につける ・海外留学経験により英語コミュニケーション能力を高め、グローバル社会で活躍する基礎的な能力を身につける	英語学習研修②	(基礎日本語I)② TOEIC演習②	(基礎日本語II)②	(基礎日本語III)②	(基礎日本語IV)②	*基礎日本語は留学生必修		
教職関連	・教育者としての崇高な使命を自覚し、豊かな人間性や社会性などの総合的な人間力および教材や教職に関する高度な専門性と実践的指導力を身につけ、「いのちとくらし」を大切にした教育を行うとともに、地域の教育・文化の発展に貢献し、社会から尊敬・信頼を得ることのできる教員を養成する。	1年 前期 教職概論	1年 後期 教育概論	2年 前期 進路指導・生徒指導論 特別支援教育論 総合的な学習の時間の指導法	2年 後期 教育概論 美術科教育法I・II 教育相談の理論と方法	アカデミック英語②	3年 前期 特別活動論 工業I 教育心理学 教育課程論	3年 後期 特別活動論 工業I 教育方法論	4年 前期 教育実習I・II
学芸員課程	学芸員とは学芸員資格を得た上で博物館資料の収集・保存・調査・研究・展示、その他教育普及活動などを行う、博物館の専門職員である。本課程では博物館法に定める科目を修得し、学芸員資格の取得を目指す。	博物館概論	生涯学習概論	博物館概論 博物館情報・メディア論	博物館展示論 博物館資料論	博物館実習	博物館実習	博物館実習	博物館実習
美術学科専門教育課程	学習内容	1年 前期 日本美術史④(通年) 西洋美術史④(通年)	1年 後期 西洋彫刻論② 基礎デザインI② 美術領域I② デザイン領域I②	2年 前期 東洋美術史④(通年)	2年 後期 美術概論② 色彩論演習 美術領域II② デザイン領域II②	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
D1【知識・理解】 造形活動や芸術文化研究における専門家として、基礎的技術や専門的知識を総合的に身に付けたもの。	実技系・理論系の全てに共通する科目で、選択コース以外の分野の領域を横断的に体験することで、創作・研究に必要な「ものづくり」の基礎能力を身につける。また社会に出て活用できるようにアプリケーションの基本的な操作・活用方法などコンピュータの汎用的技能を身につける。 D2>	1年 前期 【日本画】 日本画実習I A⑧ 【洋画】 洋画実習I A⑧ 【アート・イラストレーション】 イラストレーション実習I A⑥、デジタルツール演習I② 【3Dアート】 3Dアート実習I A⑥、ゲームデザイン演習②	1年 後期 【日本画】 日本画実習I B⑧ 【洋画】 洋画実習I B⑧ 【アート・イラストレーション】 イラストレーション実習I B⑥、デジタルツール演習I② 【3Dアート】 3Dアート実習I B⑥、造形技法演習A・B②	2年 前期 共通絵画実習I② 共通絵画実習II②	2年 後期 共通立休実習②	造形実習I(版画)② 造形実習II(染物)②		特別演習②	学外演習②
D1【知識・理解】 造形活動や芸術文化研究における専門家として、基礎的技術や専門的知識を総合的に身に付けたもの。	実技系・理論系ともに芸術における高度な専門性を養成するために、各分野における専門知識および基礎能力を、理論系では専門的な知識、さらに表現技法の基礎的技能を身につけ、2年次以降の専門教育で発展できる基盤を構築する。	【日本画】 日本画実習II A⑧ 【洋画】 洋画実習II A⑧ 【アート・イラストレーション】 イラストレーション実習II A⑥、デジタルツール演習II② 【3Dアート】 3Dアート実習II A⑥、カービング実習②	【日本画】 日本画実習II B⑧ 【洋画】 洋画実習II B⑧ 【アート・イラストレーション】 イラストレーション実習II B⑥、イラストレーション表現探究II② 【3Dアート】 3Dアート実習II B⑥						
D3【態度・志向性】 人間社会のさまざまな問題や課題を、身に付けた専門的技術や知識、高い倫理観を活かして解決することで、未来の文化形成に寄与できるもの。	1年次で身につけた基礎的な知識や基礎能力をもとに、さらに発展させて、特に3年次においては自分自身で課題を発生し、それを制作や研究の実習、演習を通して、自分なりのアプローチによりその課題を解決できる能力を身につける。そして、最終的に4年間の集大成として卒業研究に取り組む。	【日本画】 日本画実習III A⑧ 【洋画】 洋画実習III A⑧ 【アート・イラストレーション】 イラストレーション実習III A⑥、イラストレーション表現探究III② 【3Dアート】 3Dアート実習III A⑥、IV B⑥ フィギュア造形実習②	【日本画】 日本画実習III B⑧ 【洋画】 洋画実習III B⑧ 【アート・イラストレーション】 イラストレーション実習III B⑥、イラストレーション表現探究III② 【3Dアート】 3Dアート実習III B⑥	【日本画】 日本画実習IV A④ 【洋画】 洋画実習IV A④ 【アート・イラストレーション】 イラストレーション実習IV A⑥、III B④ フィギュア造形実習②	【日本画】 日本画実習IV B④ 【洋画】 洋画実習IV B④ 【アート・イラストレーション】 イラストレーション実習IV B⑥ 【3Dアート】 3Dアート実習IV B⑥	【日本画】 日本画実習IV A④ 【洋画】 洋画実習IV A④ 【アート・イラストレーション】 イラストレーション実習IV A⑥ 卒業研究⑤	【日本画】 日本画実習IV B④ 【洋画】 洋画実習IV B④ 【アート・イラストレーション】 イラストレーション実習IV B⑥ 卒業研究⑤	【日本画】 日本画実習IV A④ 【洋画】 洋画実習IV A④ 【アート・イラストレーション】 イラストレーション実習IV A⑥ 卒業研究⑤	【日本画】 日本画実習IV B④ 【洋画】 洋画実習IV B④ 【アート・イラストレーション】 イラストレーション実習IV B⑥ 卒業研究⑤